

展示物紹介

浜坂駅をはじめとする新温泉町内の駅にまつわる品物のほか、余部鉄橋や全国各地の鉄道グッズを集めてみました。

思い出がいっぱい詰まった「鉄子の部屋」で懐かしいひと時をお過ごしください。



機関車のネームプレート

C55形蒸気機関車

日本国有鉄道の前身である鉄道省が設計した垂幹線旅客列車用中型テンダー式蒸気機関車の一つ。本形式は内地向けには昭和10年に製造が開始され、3次に分けて合計62両が製造された。

C58形蒸気機関車

昭和13年から昭和22年にかけて、431両（樺太庁鉄道14両、天塩鉄道・三井芦別鉄道各2両含む）が製造された。プレートの「C58 170」の機関車は現在も豊岡市日高小学校に静態保存されている。



④ 山陰線略案内、鉄道写真



⑤ 国鉄時代の時刻表



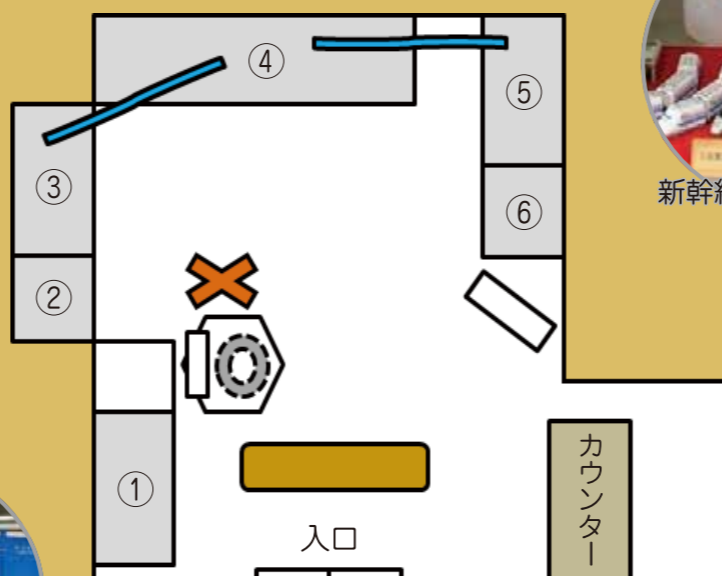
⑥ 記念入場券

「余部鉄橋の鋼材」

約100年もの間、山陰本線の運行を支えてきた「余部鉄橋」。多くの人に愛されてきましたが、近年、コンクリート製の橋に架け替えられました。その際の鋼材の一部、展示しています。



余部鉄橋の鋼材



館内ガイド



新幹線の鉄道模型

「出雲」のプラレール

「懐かしい車両たち」

寝台特急「出雲」や181系「はまかぜ」等の、浜坂駅周辺で活躍した昔懐かしい車両のプラレールや鉄道模型などを中心に展示しています。



「駅のれん」

浜坂駅は「駅のれん」が掛かる非常に珍しい駅です。鉄子の部屋では歴代ののれんを展示し、鉄子の部屋も「のれん」でお客様を出迎えます。



浜坂駅の歴代のれん



鉄子の部屋入口



記念スタンプ

「鉄子の部屋 記念スタンプ」

入館者からの「記念になるものを」という要望からスタンプを設置しました。はまかぜや蒸気機関車のD51、駅構内の給水塔、山陰海岸ジオパーク等をデザインしています。

過去に活躍した車両

寝台特急「出雲」

東京～出雲市間を結んでいた寝台特急。「ブルートレイン」と呼ばれる青い客車に、赤い機関車が懐かしい。285系を投入し吉備線経由で電車化した、「サンライズ出雲」の登場により、2006年に廃止された。



181系 特急「はまかぜ」

大阪～浜坂・鳥取間を結ぶ特急列車として、長きにわたり活躍。2010年、キハ189系の投入により、定期運用から離脱。最後の181系として、多くのファンに惜しまれつつ引退した車両。



写真提供…浦辺研究所 日本の旅・鉄道見聞録

① 「はまかぜ」ヘッドマーク

② 後藤総裁視察資料

③ 昭和期の鉄道線路図



駅舎の一角にある施設内には、厳選された約300点の明治から昭和にかけての鉄道の歴史を刻む貴重な資料を展示しています。旧国鉄やJRのOB等から寄せられた資料は多数あり、今後も様々な資料の展示を計画しています。

「鉄子の部屋」では、旧国鉄・JRの西日本鉄道OB会豊岡支部・浜坂地区会の会員が勤務しており、展示品の説明、駅周辺の温泉施設や史跡、観光名所の案内などを行っています。

ぜひ、気軽に声をかけてください。